

女大第18-3号
平成26年4月10日

各大学(学部)長
各短期大学長
各関係機関長

様

群馬県立女子大学
学長 濱口富士雄
(公印省略)

教員の公募について(依頼)

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学では下記の要領で文学部英米文化学科の教員を募集することになりました。つきましては、貴学ならびに貴機関関係者の方々にご周知くださいますようお願い申し上げます。 敬具

記

- 1 担当科目 アメリカ文学に関する講義、講読、演習、卒業論文指導及び文学部教養教育科目「英語」など、通年週5コマ程度。(この他、大学院修士課程の授業を担当していただくこともあります。)
- 2 募集人員・職名 准教授または講師1名
- 3 応募資格
 - (1) 学歴 修士の学位を取得した方、もしくはそれと同等以上の学識を有する方
 - (2) 研究分野 アメリカ文学(主として小説)
 - (3) 研究業績 著書・論文等5点以上(修士・博士論文を含む)
- 4 採用予定年月日 平成27年4月1日
- 5 提出書類
 - (1) 履歴書(所属学会等記載、写真貼付、学歴は中学校以前は記載不要)
 - (2) 研究業績一覧
 - (3) 主な研究論文または著書3点(コピー可)
 - (4) 社会貢献等活動状況表(過去3カ年間)
 - (5) 構想する教育内容・方法等(A4判1枚程度)
- 6 応募締切日 平成26年5月30日(金)(必着)
- 7 応募書類提出先 〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手1395-1
群馬県立女子大学 学長 濱口富士雄 宛
応募書類一式は「書留」とし、封筒の表に「アメリカ文学担当教員応募書類在中」と明記してください。
- 8 問い合わせ先 群馬県立女子大学事務局総務係、または英米文化学科長 藤村好美
電話: 0270-65-8511(代表)
電子メール: koubo26@mail.gpwu.ac.jp
- 9 その他
 - (1) 選考の過程で面接及び模擬授業をお願いする場合があります。その際は旅費等の支給はありませんのでご承知おきください。
 - (2) 応募書類等は原則として返却しません。著書等の返却を希望される方は、「要返却」というラベルをそれらに貼付し、さらに宛先を明記し切手を貼付した返送用封筒を同封してください。
- 10 本学のホームページは、<http://www.gpwu.ac.jp/>です。

2014年4月16日

関係大学(学部)長
関係大学院研究科長 殿
関係機関長

獨協大学外国語学部長
黒田多美子
(公印省略)

獨協大学外国語学部交流文化学科専任教員の募集について(依頼)

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび獨協大学外国語学部交流文化学科では、下記の要領にもとづき専門科目「ツーリズム・メディア論」などを担当する専任教員を募集いたします。下記の事項をご参照の上、貴学ならびに関係機関にご周知下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職 名 :教授 または 准教授 (常勤、任期なし)
2. 募集人員 :1 名
3. 採用予定日 :平成 27(2015)年4月1日
4. 募集要件
 - (1)博士または Ph.D.学位の取得者、あるいは取得見込の者(ただし、後者の場合は、着任予定日までに博士または Ph.D.学位を取得のこと)。
 - (2)高等教育機関(大学、大学院)またはそれに準ずる機関で教育・研究歴及び校務分掌歴を有すること。
 - (3)グローバル化が進展する現代社会におけるメディアのあり方やメディア表象について、メディア研究、社会学、文化研究などの視点から批判的研究を行い、同分野において優れた研究業績と研究能力を有すること。
 - (4)当該分野に関する複数の単独著書や学術賞受賞歴など卓越した業績があることが望ましい。
 - (5)国籍は問わない。ただし日本語で支障なく教育、その他の職務を遂行する能力を持っていること。
5. 職務内容

少なくとも以下の四点が職務となります。

 - (1)主としてトランスナショナル文化部門の科目を担当しつつ、ツーリズム部門との連携を行うこと。担当科目としては、「トランスナショナル・メディア論」、「トランスナショナル文化特殊講義」、「ツーリズム特殊講義」(旧ツーリズム・メディア論)等を予定している。
 - (2)上記の科目以外に、学科基礎科目としての英語科目(「Reading Strategies I/II」など)、共通科目(「英語専門講読」など)、及び「演習」のいずれかもしくはそのうちの複数を担当

すること。

(3)週5コマ以上の授業科目を担当すること。

(4)学生に対する幅広い教育指導をはじめ、大学・学部・学科が主催する各種行事の企画・運営に協力し、各種委員会委員等の校務を分掌すること。

6. 提出書類

(1)カバーレター(e-mail アドレス、電話番号を記載)

(2)履歴書(フォームを本学HPよりダウンロードして記入し、写真貼付のこと)

(3)博士課程の修了証明書(学位記[コピー可]もしくはそれに準ずるもの)

(4)教育研究業績一覧表(査読付き論文の場合には、それを明記すること。フォームを本学HPよりダウンロードして記入のこと)

(5)主要研究業績3点(論文の抜き刷り・コピー可。著書の場合は、原本1部で可)

*履歴書、ならびに研究業績書は、以下の URL からダウンロードできます。

http://www.dokkyo.ac.jp/recruit/index_j.html

7. 選考方法

(1)第1次審査:書類選考

(2)第2次審査:模擬授業及び日本語と英語による面接

*面接に際しての旅費・滞在費は応募者の負担とします。また、審査の過程で追加書類の提出を求めることがあります。

*選考手続き終了次第、ご本人に通知します。なお、応募者のプライバシーは厳守し、提出された書類は選考以外の目的には使用しません。

8. 提出期限 :2014年5月30日(金) 必着

9. 宛先 :〒340-0042 埼玉県草加市学園町1-1

獨協大学外国語学部 交流文化学科共同研究室

*封筒に「交流文化学科専任教員応募書類」と朱書してください。応募書類は原則として返却いたしません。返却ご希望の方は、切手を貼った返信用封筒を同封してください。

10. 問い合わせ先

外国語学部交流文化学科長 永野隆行 e-mail: tnagano@dokkyo.ac.jp

(●を@に置き換えてください。)

外国語学部交流文化学科共同研究室事務担当 板屋(いたや)・渦尾(うずお)

電話:048(943)1162、Fax:048(943)1163

以上

2014年3月14日

関係各位

東北学院大学
教養学部長 佐久間政広
(公印省略)

東北学院大学教養学部教員（言語文化学科）公募

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、本学部では、下記の要領で専任教員を公募することになりました。つきましては、ご多忙のところ恐縮に存じますが、貴学（機関）関係方面への周知方お願い申し上げます。

本学部は人間科学科、言語文化学科、情報科学科、地域構想学科の四つの学科からなる学際的な性格をもつ学部で、大学院として人間情報学研究科博士前期・後期課程が設置されています。

なお、福音的信仰のキリスト者、もしくはキリスト教に基づく本学の建学の精神を理解される方を希望しております。

敬具

記

- ・ 公募人数：准教授ないし講師のいずれか1名
- ・ 所属：教養学部言語文化学科
- ・ 任期：なし
- ・ 専門分野：日本語教育学
- ・ 担当科目：「日本語教授法」、「日本語教育実習法」、「読解・作文の技法」（日本人学生を対象とした、アカデミック・ライティングの基礎を教える科目）
「日本語」（留学生用日本語講座に関連する科目）他
- ・ 応募資格：
 - (1) 博士号取得あるいはそれと同等以上の研究業績を有する方
 - (2) 本学の日本語教育プログラムをコーディネートできる方
 - (3) 教育機関において、外国人に対する日本語教育経験のある方

- (4) 日本人学生の日本語力向上にも貢献できる方
 - (5) 心身ともに健康な方
- ・ 着任時期：2015年4月1日
 - ・ 待遇：採用時における本学規定による。
 - ・ 選考方法：書類審査および面接による。審査結果は8月下旬までに文書で通知する。
 - ・ 提出書類：
 - (1) 履歴書
 - (2) 研究業績一覧表
 - (3) 教育研究歴（これまでの教育・研究の概要がわかるもの）
 - (4) 学術著書・研究論文等、応募者が審査を受けるのに適当と思われるもの3篇。コピーでも可。それぞれ、A4用紙1枚程度のレジュメを付ける。
 - (5) 日本語教師を目指す学生たちにどのような教育を施したいか、その具体的ビジョンを日本語でまとめたもの（2000字程度）。
 - (6) 今後国際交流部門をさらに活性化させ、海外からの留学生を増やそうと計画している本学において、あなたがぜひ実現したい日本語教育プランを、口頭で具体的に説明した動画ファイル（長さは5～10分程度。DVD-R等に保存して送付）。
- （注）ご提出頂いた書類・著書・論文・資料等は、一切お返しいたしませんのでご了承ください。
- ・ 書類提出締め切り日：2014年6月9日(月) 必着。
 - ・ 書類提出先：〒981-3193 仙台市泉区天神沢2丁目1-1
東北学院大学泉キャンパス庶務係気付
東北学院大学教養学部長 宛
- （注）封書に「教養学部教員（日本語教育学）応募書類在中」と朱書きのこと。郵送の場合は書留郵便で送付のこと。
- ・ 問い合わせ先：
東北学院大学教養学部言語文化学科新任教員選考委員会
TEL:022-375-1166（言語文化学科事務室）
E-mail: gengo@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

各関係大学長 殿
各関係大学学部長 殿
各関係機関長 殿

東京藝術大学音楽学部長
澤 和 樹
(公印省略)

東京藝術大学音楽学部 指揮講座専任教員の公募について

このたび本学部では、下記の要領により教員公募をいたします。つきましては、貴学ならびに貴機関関係各位に対し、広くご周知いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 採用職名 教授又は准教授
2. 所属 指揮科
3. 採用人数 1名
4. 担当科目・業務等
学部・大学院における指揮実技の指導ならびにオーケストラ（附属高校を含む）・オペラ等の指揮
5. 給与 本学規定（年俸制）による
6. 応募資格 (1) 大学院修士課程修了、又は、これと同等以上の専攻実技能力及び実績があること。
(2) 採用後、通勤可能範囲に居住できること。
7. 採用予定日 平成27年4月1日
※ 本学の規定により、教授又は准教授には、定年（67歳）を上限として10年の任期が付される。
ただし再任可。
8. 提出資料 (1) 履歴書（写真貼付）（E-mail アドレスなど確実な連絡方法を明記）
(2) 演奏活動等業績書（演奏実績・コンクール受賞歴等、A4サイズ書式自由）
(3) 小論文「本学において実現したい指揮およびオーケストラの教育と研究について」
（書式自由。日本語（1200字程度）又は英語（500ワード程度））
(4) 第一次選考結果の通知のための返信用定形封筒（送付先を明記の上、返信用切手を貼付したもの）
※提出された個人情報、教員採用に関する業務・連絡・手続き以外の目的に使用することはない。
※希望者には提出資料を返却する。返却を希望する場合は、必要な額の切手を貼付し、送付先を明記した返信用封筒を同封すること。宅配便利用の場合は、送付票（着払い）を記入の上、返信用封筒と共に同封すること。

裏面に続く

9. 応募期限 平成26年6月13日(金)必着

10. 選考方法等 (1)第一次選考：書類選考(6月中旬の予定。選考結果は書面にて通知する。)
(2)第二次選考：第一次選考通過者に対して、面接を行うことがある(6月下旬から7月上旬の予定)。詳細は、第一次選考結果と併せて通知する。この場合、旅費は自己負担となる。
※最終(第二次)選考結果は9月下旬に通知予定。
※審査内容等の選考過程は一切公表しない。

11. 提出先 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8
東京藝術大学音楽学部庶務係 宛
※提出書類は「書留」とし、封筒表面に「指揮科教員応募書類在中」と朱書きすること。

12. 問合せ先 東京藝術大学音楽学部庶務係(担当：松井)
Tel: 050-5525-2302
Fax: 03-5685-7784
E-mail: katsuyuk@off.geidai.ac.jp

平成 26 年 4 月 15 日

各大学院研究科長
各大学学部長 殿
関係機関長

駒澤大学仏教学部
学部長 金沢 篤
(公印省略)

専任教員の公募について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび駒澤大学仏教学部では、下記の要領により、平成 27 年度新任教員（仏教学科所属）を公募することになりました。

つきましては、ご多忙のところまことに恐縮ですが、貴学・貴機関の関係の方々にご周知いただきたく、よろしくお願い申し上げます。 敬具

記

1. 募集研究教育領域および人員・職制

宗教学 1 名 専任講師

2. 応募資格

- (1) 大学院博士課程修了者・単位取得退学者（満期退学者）
- (2) 応募資格（1）に相当する業績もしくは職歴のある方
- (3) 日本語で講義可能な方
- (4) 仏教の素養を有し、本学の建学の理念である「仏教の教義ならびに曹洞宗立宗の精神」に基づく全学部必修宗教教育科目「仏教と人間」を担当できる方

3. 応募期限 平成 26 年 7 月 2 日（水） 当日消印有効

4. 提出書類

- (1) 履歴書（用紙・様式は本学ホームページ→「大学からのお知らせ」→「教員公募情報」→「仏教学部教員公募」よりダウンロードしてご利用下さい。なお、家族欄は記載の必要はありません。）
- (2) 最終学歴の証明書あるいは見込証明書（複写可）
- (3) 研究業績目録（主要業績 5 点に○印を付す）
- (4) (3) に記載する主要業績 5 点の要旨（各 400 字程度）
- (5) 主要業績 5 点のうち、審査を希望する 3 点の全文を 3 部ずつ（複写可）
*提出業績は公刊されたものに限りませ
- (6) 当学部における自身の研究・教育に関する構想抱負（2,000 字程度）1 通
*書式自由

5. 審査

- (1) 第 1 次審査（書類） 平成 26 年 9 月上旬
- (2) 第 2 次審査（面接） 平成 26 年 9 月下旬
*詳細は 1 次審査通過者に追って通知します
- (3) 最終決定 平成 26 年 10 月下旬

6. 採用予定年月日 平成 27 年 4 月 1 日

7. 応募宛先 〒154-8525

東京都世田谷区駒沢 1-23-1
駒澤大学仏教学部事務室気付
仏教学部長 金沢 篤 宛

8. その他

- (1) 提出書類は、「仏教学部教員公募書類在中」と朱字で表書きし、書留郵便等確実に配達を証明できる方法によって送付して下さい
- (2) 提出書類は、上記 4. の (1) から (6) に限ります
- (3) 提出書類は、審査終了後すべて返却します
- (4) 提出書類の個人情報、採用審査以外には一切使用しません

事務連絡
平成26年4月11日

各機関の長様

独立行政法人国立文化財機構
理事長 佐々木 丞 平

独立行政法人国立文化財機構研究職員の採用について（依頼）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび当法人におきまして、下記のとおり研究職員の採用を予定しておりますので、既就労者を含め広く関係各位に周知していただくとともに適任者をご推薦下さるようよろしくお願い申し上げます。

○募集する職種

独立行政法人国立文化財機構研究職員（近世絵画 1名採用予定）

※詳細は別紙選考案内をご参照下さい。

平成26年度独立行政法人国立文化財機構研究職員採用選考案内

独立行政法人国立文化財機構
平成26年4月11日

このたび当機構では、下記のとおり研究職員を募集いたします。

1. 職種・採用予定人員・勤務場所・職務内容

- (1) 職種 独立行政法人国立文化財機構研究職員
 (2) 勤務場所 採用当初は京都国立博物館(京都市東山区茶屋町527)での勤務となります。
 その後機構内他施設への異動もあります。
 (3) 採用予定人員・職務内容

分野・採用予定人数	職務内容
近世絵画 ・・・1名	文化財(主に近世絵画)に関する調査・研究。収集、保管、展示、公開等の業務。特別展覧会他当館関連行事に関する業務。必要に応じて他の分野の研究と業務にも携わります。

2. 採用予定日 平成26年9月1日(可能であれば選考結果連絡後、出来るだけ早い時期)

3. 勤務条件及び給与

- (1) 勤務条件 独立行政法人国立文化財機構職員就業規則等によります。
 (2) 給与 独立行政法人国立文化財機構職員給与規程等の定めにより決定します。
 *参考 大学院修士課程修了者 初任給月額 約206,100円
 *上記の規則等については独立行政法人国立文化財機構 WEB の規則ページを参照願います。
 (独立行政法人国立文化財機構 WEB アドレス: <http://www.nich.go.jp/>)

4. 応募資格

分野	応募資格
近世絵画	① 大学院で近世絵画を専攻し、修士の学位を有すること ② 諸外国の研究者との交流に支障がない程度の語学(英語)能力を有すること ③ 近世絵画に関する調査研究、展示・保管等取扱いの能力または経験を有すること

5. 選考方法

- (1) 第1次選考 研究業績、職務経験等により書類選考を行います。
 (2) 第2次選考 第1次選考合格者に対して、以下の試験を実施します。
 *第2次選考の日程等詳細については、第1次選考合格通知時に別途連絡します。

試験内容
①筆記試験 ・小論文(専門分野に関する小論文) ・語学(英語) ②面接試験

6. 提出書類

以下の書類をご提出下さい。なお、書類(③, ④, ⑤を除く。)は A4 片面印刷, クリップ止めにて提出して下さい。(冊子, ホチキス止め不可。)

	書類	提出時の注意事項
①	履歴書	様式1 パソコン入力可。氏名欄は自筆押印。写真貼付。
②	研究業績・事業実績調書	様式2 パソコン入力可。

③	卒業証明書または卒業証書の写し 修了証明書または修了証書の写し	大学学部以上の全てを提出。 在学中の場合は、卒業(修了)見込証明書を提出すること。 退学予定者は、在学証明書と退学予定証明書を提出すること。 外国語で記載されている場合は日本語訳を添付すること。
④	成績証明書	大学学部以上の全てを提出すること。 外国語で記載されている場合は日本語訳を添付すること。
⑤	学位証明書	博士の学位を取得している場合は提出すること。
⑥	研究業績の別刷	主な研究業績(論文等)の別刷を提出(3点以内)。但し冊子のものは不可。冊子の場合は必ず A4 片面コピーをとる。 修士・博士論文等提出時は、日本語で 4,000 字以内のレジюмеを添付すること。
⑦	抱負についての作文	「採用された場合の今後の研究及び展示の抱負」について、1,000 字以内で記述したものを提出すること。(A4片面印刷であれば様式は任意。)
⑧	推薦書 (提出任意)	様式3 推薦書がある場合には、提出すること。

*ご提出いただきました書類は返却いたしません。個人情報、当公募の管理・審査以外の目的に使用いたしません。当法人の文書管理規程に基づき厳正に管理いたします。

7. 採用予定者の決定及び発表

第1次選考及び第2次選考の結果を総合的に判断し、採用予定者を決定します。

選考結果は、第1次選考については平成26年6月上旬までに、第2次選考については平成26年7月中旬までに、合格者にのみ本人宛に通知します(履歴書記載の電話番号に下記担当よりご連絡いたします)。

8. 応募手続き等

(1)選考案内は独立行政法人国立文化財機構 WEB ページからダウンロードが出来ます。

(独立行政法人国立文化財機構 WEB アドレス:<http://www.nich.go.jp/>)

(2)応募締切

平成26年5月12日(月)午後5時必着

*応募書類は、封筒に「研究職員応募書類在中(近世絵画)」と朱書きし、配達確認のできる方法で郵送により提出してください(持参不可)。

(3)提出先・問合せ先

独立行政法人国立文化財機構本部事務局総務企画課人事担当

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

TEL 03(3822)2438

(様式 1)

履 歴 書

平成 年 月 日 作成

写真貼付欄
(3×4cm)
最近3月以内に撮影のもの
上半身、正面向きの写真
写真裏面に氏名を記入すること

ふりがな	性 別	電話 番 号
氏 名 (印)	男・女	
生年月日 昭和 年 月 日生(歳)		
ふりがな		電話 番 号
現住所 (〒 —)	方	
ふりがな		電話 番 号
その他連絡先(海外在住の方は日本における連絡先を記載のこと。) (〒 —)	方	
メールアドレス(添付ファイルを受信できるアドレスを記載のこと。)		

区分	年	月	学 歴 ・ 職 歴 等
学 歴	年	月	高 等 学 校 卒 業
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
職 歴	年	月から	週 時間勤務
	年	月まで	
	年	月から	週 時間勤務
	年	月まで	
	年	月から	週 時間勤務
	年	月まで	
	年	月から	週 時間勤務
	年	月まで	
年	月から	週 時間勤務	
年	月まで		

区分	年	月	資格等
資格 学位 含む	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	

現在の勤務先

ふりがな
名称
所在地 (〒 -)
Tel() -
職種及び職務内容(具体的に)

自己紹介欄

志望動機	
<p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>	
専攻(専門分野)及び所属学会等	
主要論文等テーマ(応募時添付のもの)	
語学 英語(1 2 3 4 5)	他の外国語
健康状態	趣味・スポーツ
<p>どちらで、この度の公募をお知りになりましたか？ 該当の□にレを記入してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 博物館のウェブサイト <input type="checkbox"/> JREC-IN(研究者人材データベース)</p> <p><input type="checkbox"/> 大学及び職場等において案内 <input type="checkbox"/> その他()</p>	
その他	

履 歴 書 記 入 要 項

- (1) 万年筆又はボールペン（黒色又は青色）で記入すること。
- (2) 年は元号で、数字はアラビア数字を用い、文字は楷書により正確に書くこと。
- (3) 写真の裏面には氏名を記入して、履歴書に貼付すること。
- (4) 職歴欄にはすべての職歴を記入し、非常勤の職の場合は週あたりの勤務時間数を明記すること。
- (5) 語学欄は下表を参考にして、本人の語学力に最も近いと思われる番号を○で囲むこと。
- (6) 他の外国語欄も下表に準じて記入すること。

1	高校までの授業や大学で履修したことはあるが、以後ほとんど使用していない。又は一切忘れてしまっている。
2	身近な言葉をゆっくり話してもらおうと最低限理解できる。 外国への出張や旅行、又は、外国人の来訪の際など、必要に迫られれば、自分の身の周りの会話は努力して使っている。一応、ある程度定期的に自分で学習する努力をしている。(入門・初級) (英語の場合、目安として、TOEIC 370点程度若しくは英検3級程度)
3	日常生活に必要な言葉であれば、要点を理解し応答に支障はない。仕事上で、手紙や短い文章を読んで理解することはできる。(中級) (英語の場合、目安として、TOEIC 520点以上若しくは英検2級程度)
4	仕事である程度のコミュニケーションが取れる。仕事上の必要があれば資料を使って概要を説明できる。一応の電話等の対応ができる。(中上級) (英語の場合、目安として、TOEIC 730点以上若しくは英検準1級程度)
5	仕事で十分なコミュニケーションが取れる。外国語での書簡を読んで、返事の下書きを書いたり、外国語による会議に出席して、その概要をまとめたりできる。(上級) (英語の場合、目安として、TOEIC 820点以上若しくは英検1級程度)

例 英語 (1 2 3 ④ 5) 他の外国語 (独語 4)

- (7) 英語検定、中国語検定、TOEFL、TOEIC等の語学検定を受験している場合には、資格取得の年月、試験の点数等を語学欄、他の外国語欄に記入すること。

例 英検準1級 (H6) TOEFL 450点 (H8)

- (8) ボランティア経験等はその他欄に記入すること。
- (9) メールにより連絡・通知等をする場合も考えられるため、メールアドレスを持っている場合は、記入願います。

(様式 2)

研究業績・事業実績調書

氏名

○印	テーマ	内 容	発表等の時期及び方法	共同研究者

記入要領

- 研究業績及び教育事業実績の記入は次の順序とし、かつ、同一項目のものについては年代順に記入する。
イ 学会誌 ロ 公刊図書 ハ 機関紙・内部報告 ニ 口頭発表 ホ 展観等
ヘ 研究調査 ト 教育事業実績 チ その他
- 研究テーマ等で代表的なものに○印をつける。
- 共同研究者の欄は主たる研究者に○印をつける。

(様式3)

推薦書

平成 年 月 日

独立行政法人国立文化財機構理事長 様

機関名等
職・氏名

印

下記のとおり候補者を推薦します。

候補者	ふりがな 氏名	(年 月 日生)
	現職	
推薦理由		
備考		